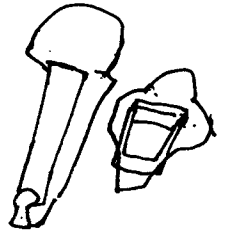


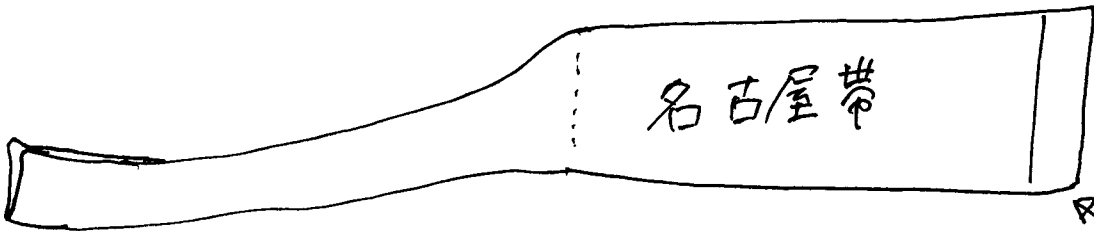
帯止め金具で帯枕が下がらない
 (ヒコキ、まどが帯止ど)



よ簡単よ おたしいこ & 二重たいこ

～要するの～ 帯 (名古屋や京袋、袋帯など), 帯止め金具, 仮紐 (2本) 2本,
 帯枕 (ガーゼ巻), 帯揚げ, 帯締め

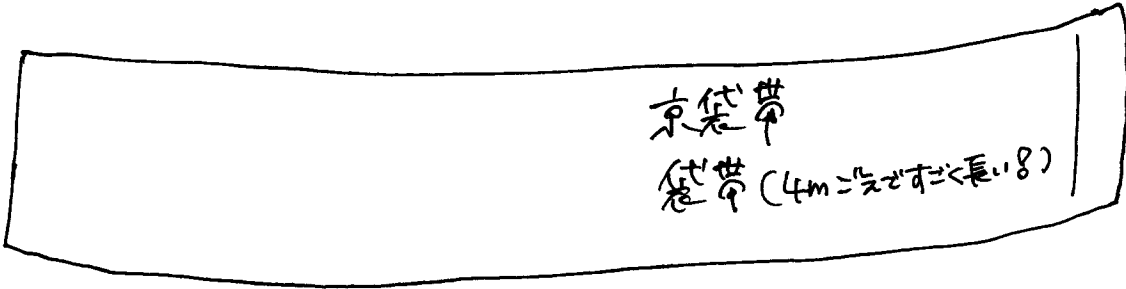
↓
 帯枕 (ガーゼ巻) ↓ 帯枕を包みます
 胸に巻いて締めるくらいに
 長さのガーゼを包みます ↓ 2!!



名古屋帯



おたしいこの尻尾の部分にあたる紐がはいているか
 ↓ 確認してください

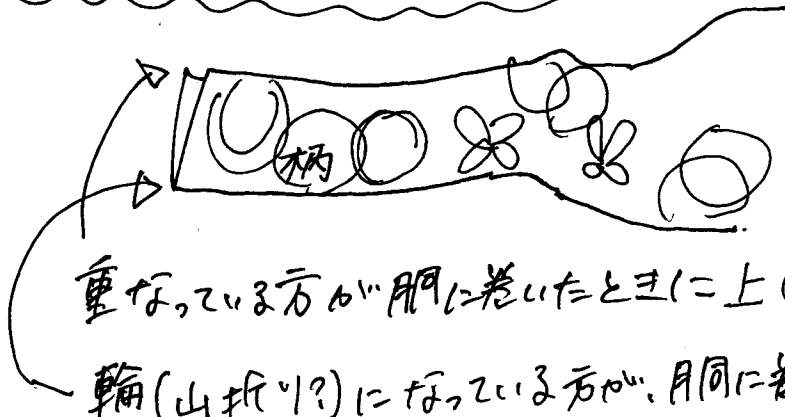


京袋帯

袋帯 (4m = 2m x 2m x 長1.8)

と集帯

京袋帯は、胸に巻きつける部分を半分に折ります。



重なっている方が胸に巻いたとき(胸)側に、

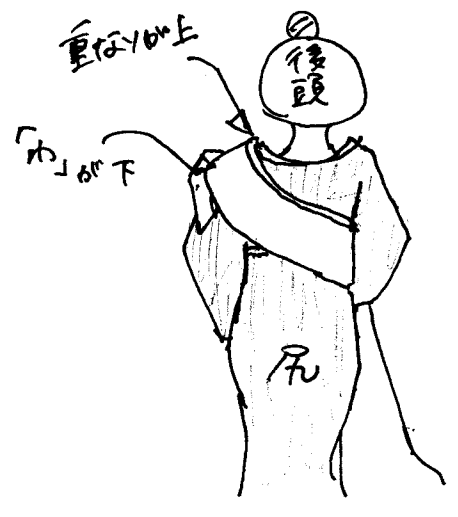
輪(山折り?)に重なっている方が、胸に巻いたとき(腰)側に

なります。



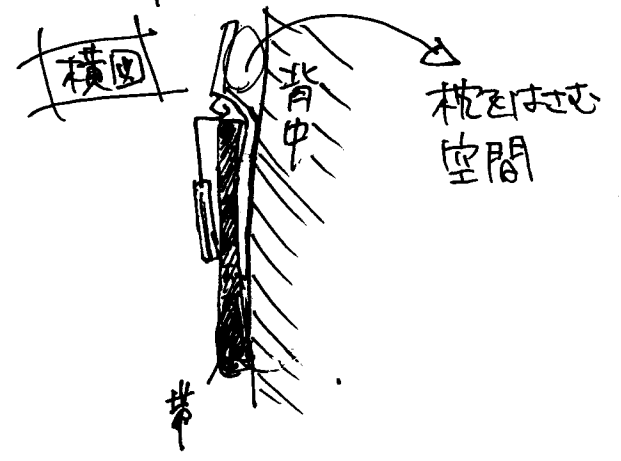
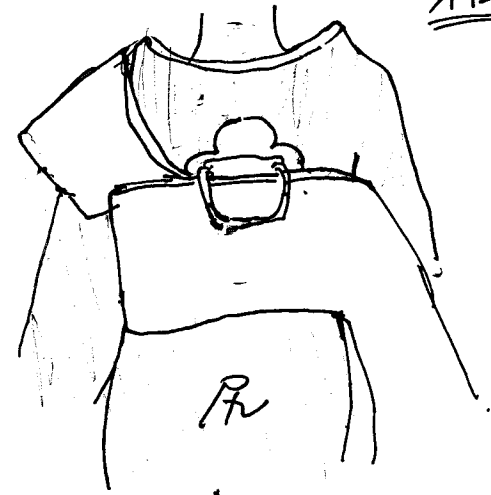
すいたら背中心に戻す!!

① 帯と背中心、左肩にひっかけます。

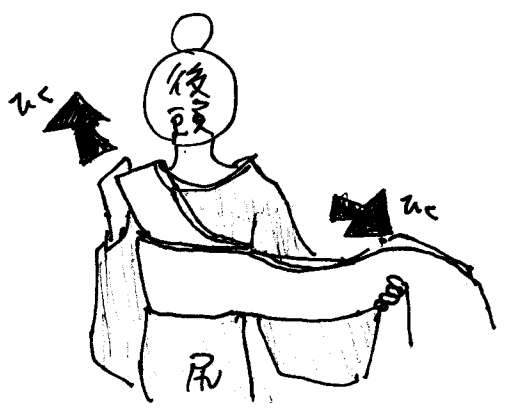


胸と鎖骨の間くらい
手どけず。わ、柄や
おデブの細身かで、
肩=帯: おとも変わります。
そのうちの帯に最適な
長さをご探究下さい。

④ 背中心で帯止め金具をはきします。
★帯止め金具の向きに注意!!
(1) まどか帯止め ★クリップの金具部分が
外側!!



② ぐりっと背までずらす - 巻き!

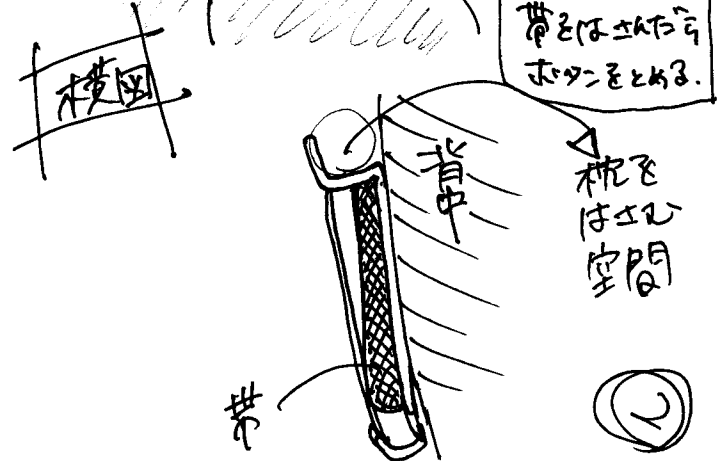
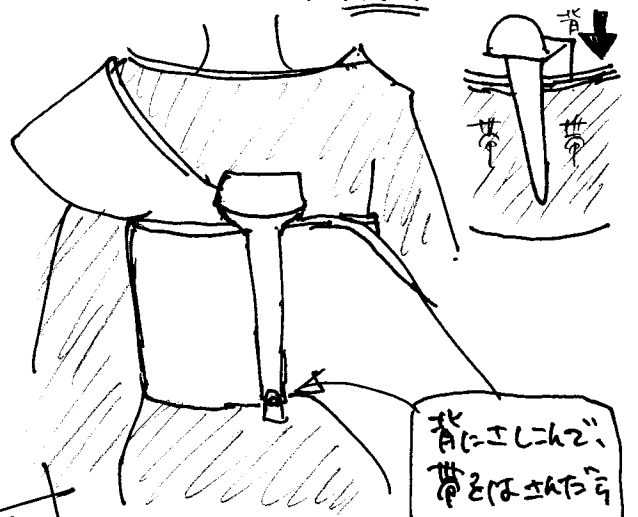


左手と右手をキュッと引き寄せます。

③ もろ巻きして、② 同様に、キュッと締めます。

※ 締めるときは、帯の下役Yを引いて、
上側にゆとりを持たせ子イX-ジで。
なせなら、帯の上側には、伊達締め
の結び目や、帯柄のガ、ゼの結び目などが
来るので、苦しくなりやすく、ゆとりが必要
です。

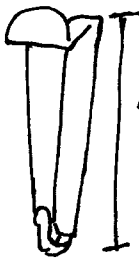
(2) ヒコーキ ★ 枕受けの出っ張ってる部分が
外側にハミで子イ。



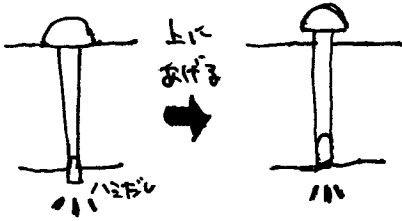
背にエシムと、
帯をはきたら
ホッパをとめる。



※ヒコキ補足

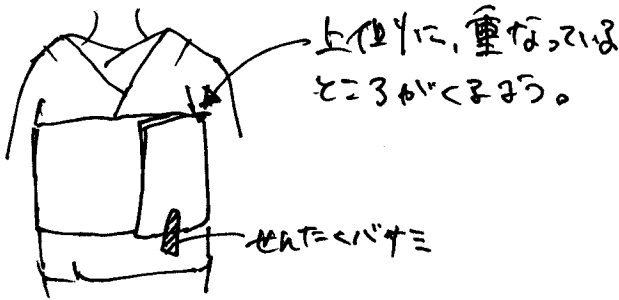


この幅が長すぎると、帯下から
ハミだすこととなります。
その場合は必ず、上側に
おし上げて下さい。

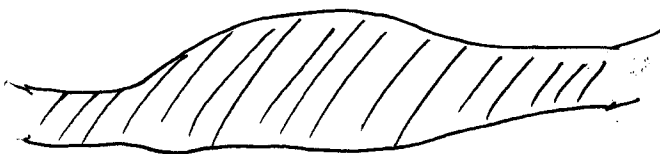


下部分のハミだしている子と、背に当たって
痛んだり、あたいの尻尾のあたりが
決まらない原因になります。

⑤ 左肩にかけていたのを降ろして、
左側から前にまわして、前で、せたく
バサミで上めます。



⑥ 帯枕を帯揚げで包んでおまきするの
が、セージと



右側には帯枕はふんわりカーブしている山位



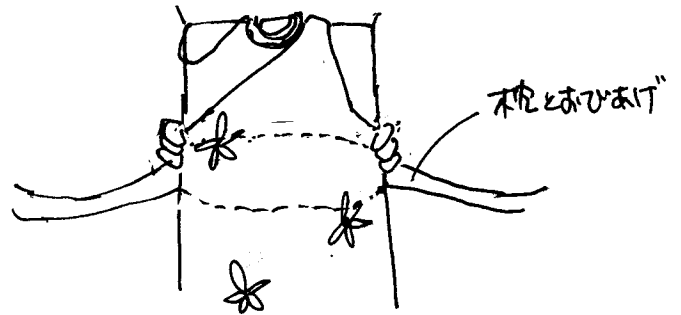
か上です。

⑦ あたいにさつくりませう。
右側にふんわりと立てた帯を。
両手で、背中側に広げませう。

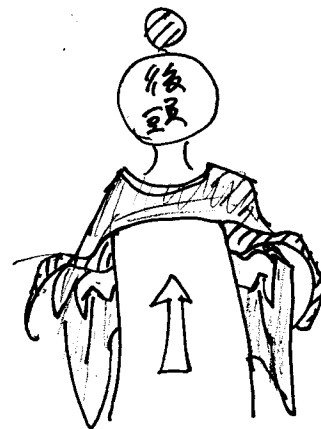


☆☆二重だいいは(7)ノージ(24)ハ☆☆

⑧ 広げた帯の裏に枕をおきます。
※帯の柄がけで出ているところがある
場合にはここを避けて!!

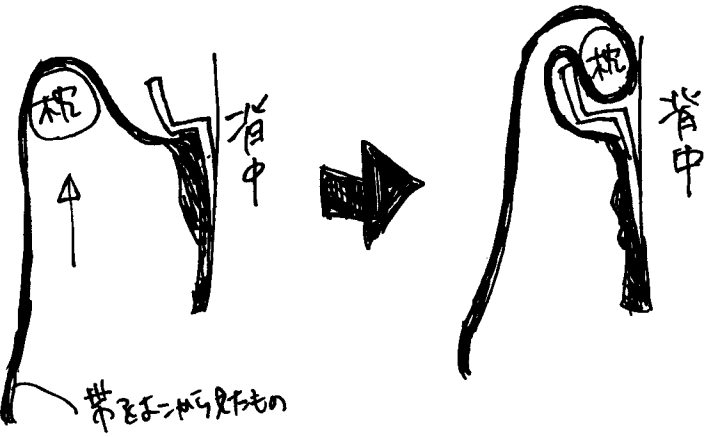


⑨ ヨイショ! と枕を背負います。

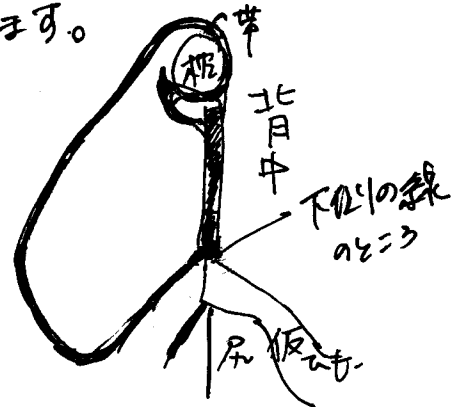


手が大変ですか、元張る!

⑩ 帯止の金具の枕受けに枕をのせます。



⑪ 折った部分のしじをしっかりと押さえてから、帯の下側の線に、仮ひもを合わせます。



⑪ 枕の位置がキマったら、まず、帯揚げの中のガーゼを結ぶ。2回巻き、ちょうち。この結び目はしっかりと、伊達締めと帯板の間、奥深くに押しこみます。

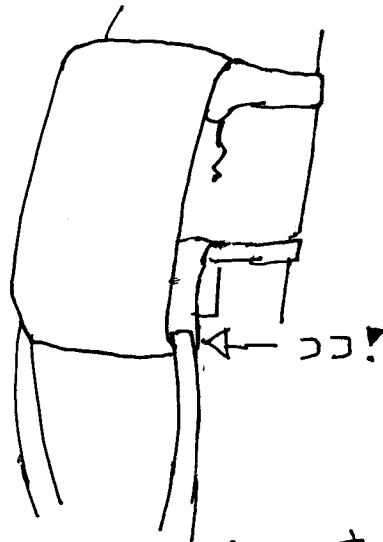
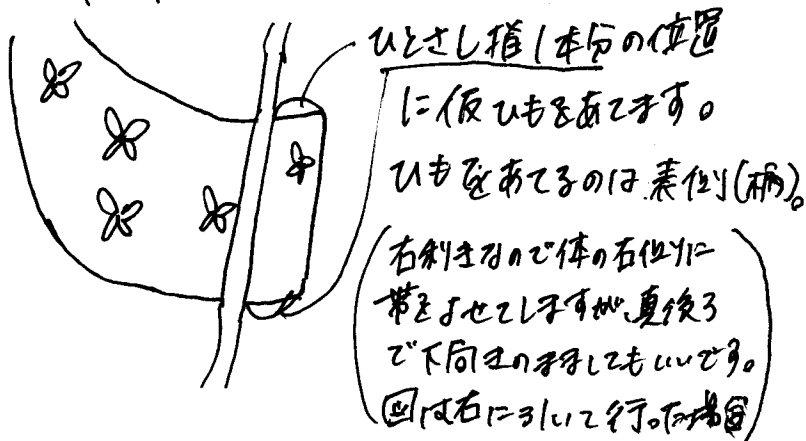
仮ひもを前で簡単にしっかりと結ぶだけ、おたいにしじの位置がキマリです!!

(※おたいに大きくした場合は、帯の下線より下側に仮ひもをあてるなど、調節できます。)

⑫ 次に、帯揚げは床にひざをひき、ゆるくちょうちを結ぶ。これも、帯の中に押し込みます。(最後にととのえます。)

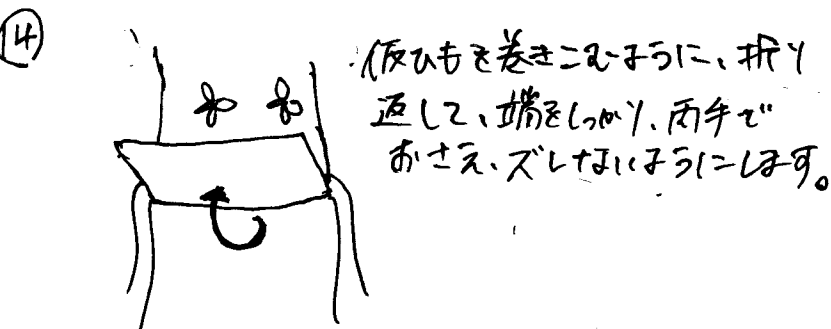
⑬ たらりと垂れた部分に、仮ひもを通します。

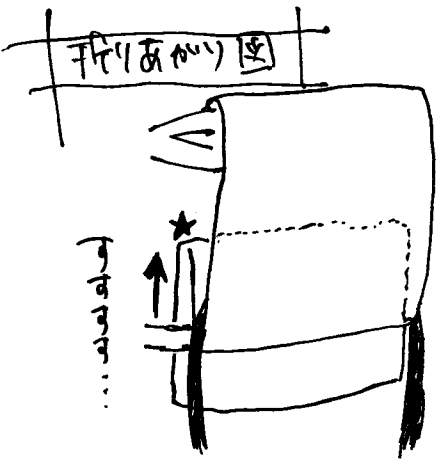
⑬ おたいにしじをつくり、背にたまた帯の端をつかみ、



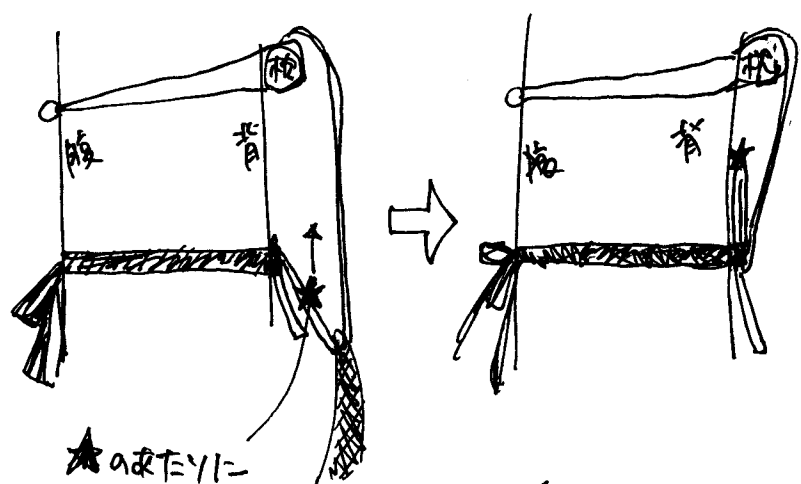
⑭ おたいに余分な部分を、内側に折りあげていきます。折りあげたら、仮ひもを前で簡単に、しっかりと結ぶ。

図はたのり



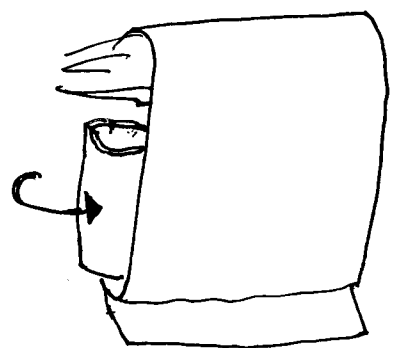
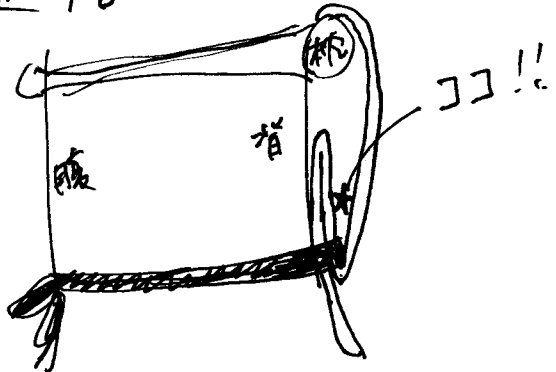


折りあげ子コツ



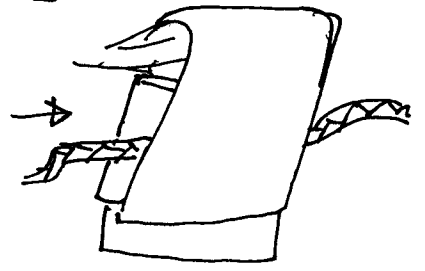
★のあたりに
両手(両側)の親指をあて、
持ちあげておく。
→ 後ろの反りもと
二重にたす。

⑧ 左前にまいた折った帯のはしをおたにこの
中に通す。

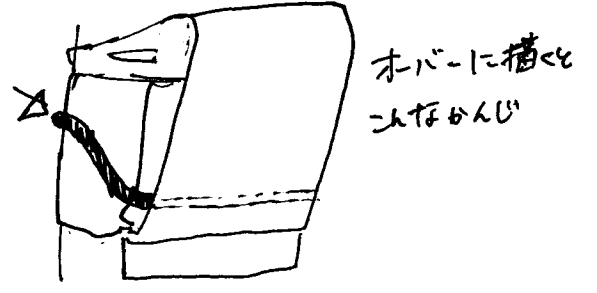


右手でむかえに
行くも子い。

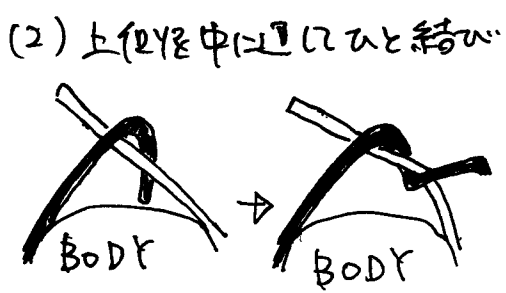
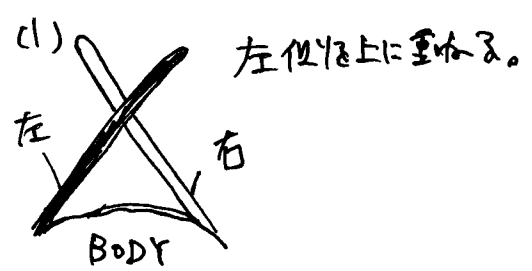
⑨ ⑧で通した帯のはしと、おたにこの
外側の間に、帯締めを通す。
左は右へ。



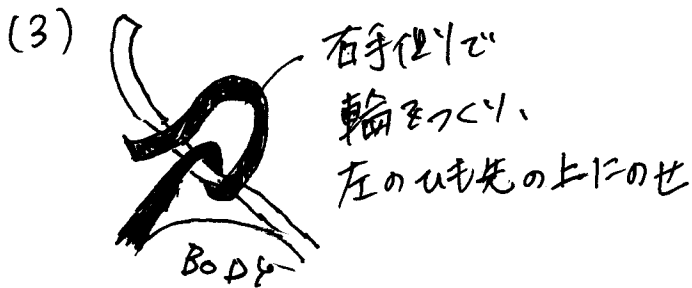
⑩ ⑨で折りにんたてを、帯締めで
しっかり、締めたいとならないので、
⑨の折りにみか少ないときは、
背側では、帯締めは少し下目
にかけます。



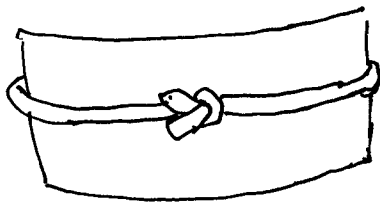
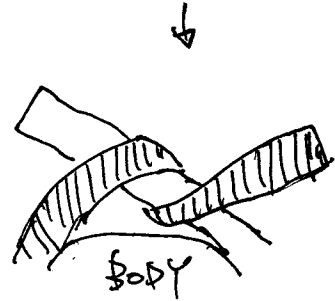
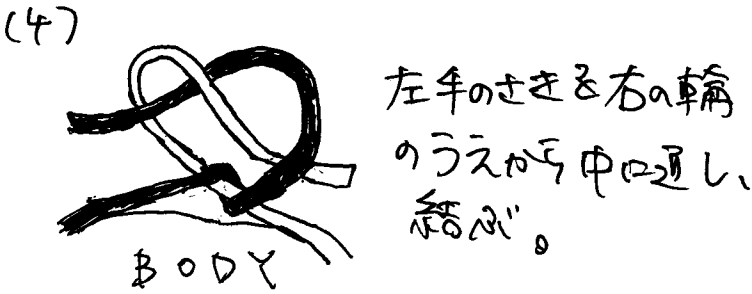
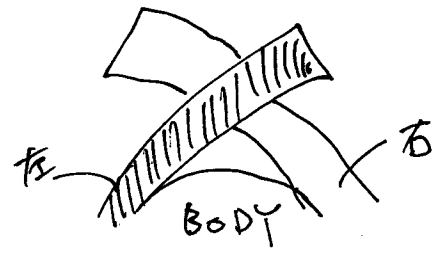
⑪ 帯締めを結ぶ(上のりみた図)



次は... じゃあ...

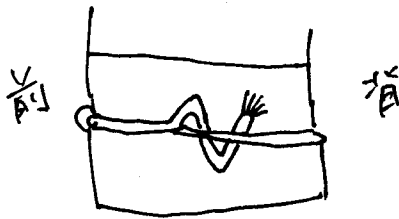


(2) 左側を上にはね上げてひもをひく。



(3) 結んで右手に来た先を上側から
左手にハス。

(5) ほしをひき下のあたりでおしこむ。



(22) 仮ひも2本をとる
とろっとゆるく。

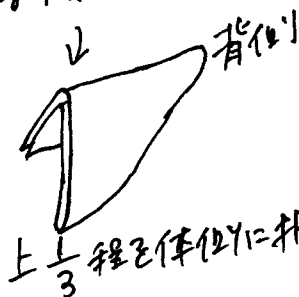
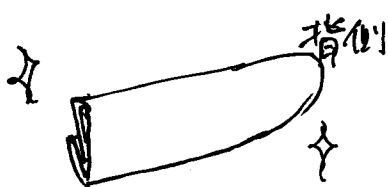
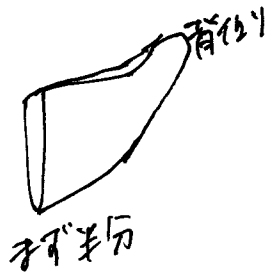
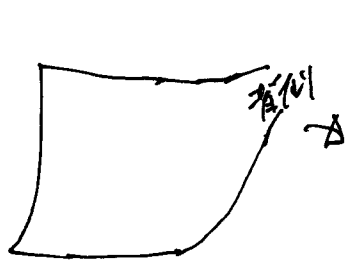
(4) 垂らした方を右手で持ち、右側の
帯板とたはじめの間にあしこむ。
玉の玉の奥まで。

(23) 帯揚げをととのえろ。(結ぶためのひも)
ほし



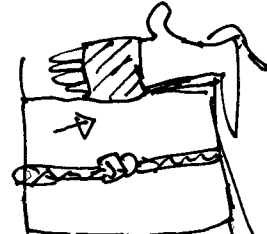
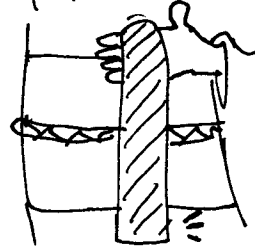
(1) 両端をほどよい幅に折る

(5) 左手でもっていき右側をもう一度きりに
たたみ、ととのえ、左手にひもを垂らす。



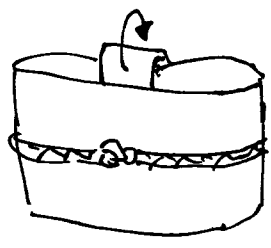
下1/3を背側に折る

上1/3程を背側に折る



垂らしたところを右手で、
帯板とたはじめの間に
あしこむ。

(6) エと平を折ぎ、半分は、
 体の内側の方へ折る。
 後はどっと裏におしこむ。



(7) 帯と帯板のあいだに指を挿し、
 前から、後ろへ 2~3回折る。
 帯あげの全体明な形をととのえ
 たら、完成♪

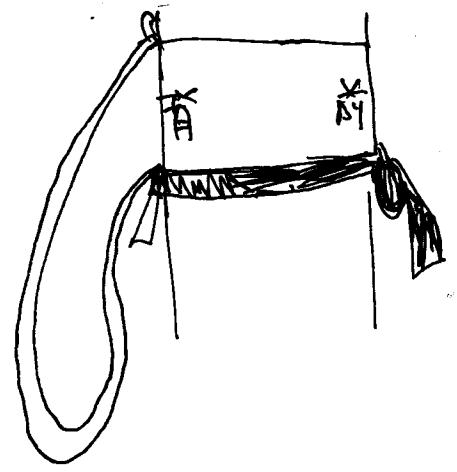
②4 二重たいに

まず、しっぽをまっすぐに
 後ろにたぐひて、先をとって、
 前の方にまゆし、指一本分の
 位置に、柄のある帯の

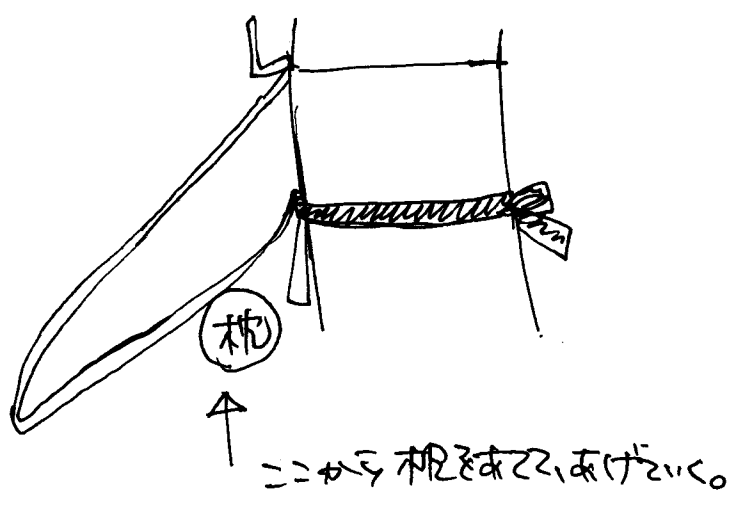


柄のある、表側に仮むちをあてます。
 表側に帯を折リかえし、左右両側の
 指でしっかりと、おさえ、仮むちか
 すくひのうしろにして、帯の下側の親に
 仮むちをあゆせませう。

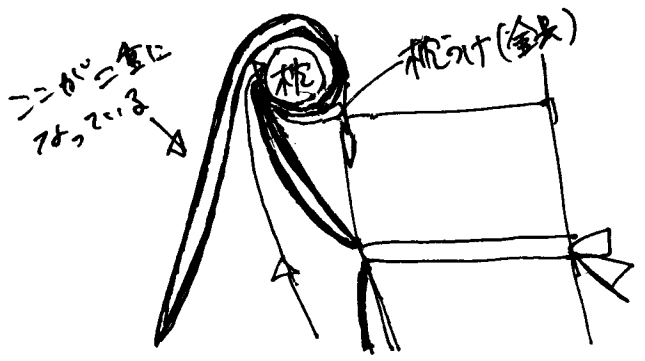
②5 あゆせたら、前で仮むちをあゆませます。



②6 帯止と金具の柄受けには、柄をのせます。

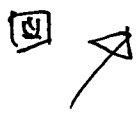


ニから柄をあててあげていく。



ニからニ重に
 7あてていく

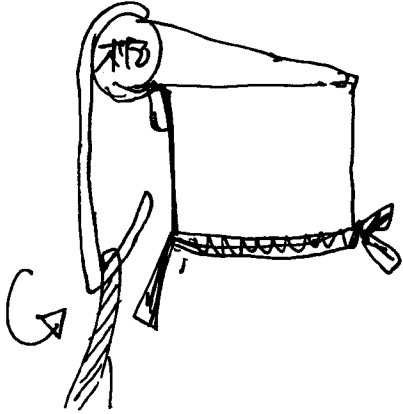
②7 帯柄の位置が決まったら、まず、
 かせを前で、二回かまげでちうち
 結び。帯板とだてじめの間におしこむ。
 次に、帯あげをゆるく結び、二重も
 帯板にはりないほうの親にひておく。



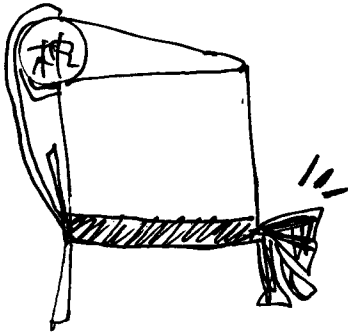
②⑧ 板ひもでおたにのサイズを詰め、
つくる。

腰ひもを背中側で両身でもち、

②⑨ 帯のたこてい子部分の内側に挿入する。
帯の下側の線のあたりで、帯のたこてい子
部分の内側にぴったり板ひもをあて、
板ひもを巻を二重に折り返す。



②⑨ 折り返したところを板ひもで
締め込む。



しっぽのひもと重なって、
板ひもが二重になります。

⑤ 10-3の ⑩ 1。手先を逆の
は、★の位!!

